

## <対策のポイント>

肉用子牛の価格が短期間で大幅に下落し、生産者の経営環境が急激に悪化しており、生産者の意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されるため、年内に経営改善に取り組む肉用子牛生産者や産地強化に取り組む和子牛生産者を臨時的かつ緊急的に支援します。

## <事業目標>

肉用子牛生産者の意欲を維持し、肉用牛生産基盤の弱体化を防止。

## <事業の内容>

### 1. 経営改善の取組に対する奨励金

肉用子牛の品種区分毎の平均価格（月別）が、発動基準（下表）を下回った場合に、年内に経営改善のための取組メニュー（右上図）のうち3つ以上行う生産者に対して、販売頭数に応じた奨励金を交付します。

品種区分	発動基準① (奨励金単価：1万円/頭)	発動基準② (奨励金単価：3万円/頭)
黒毛和種	60万円	57万円
褐毛和種	55万円	53万円
その他肉専用種	35万円	34万円
交雑種	30万円	29万円
乳用種	18万円	17万円

注1：発動基準は消費税込価格

注2：黒毛和種は、ブロック別（北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロック）の平均価格で発動を判断【運用見直し】

注3：褐毛和種、その他肉専用種、交雑種、乳用種は全国の平均価格で発動を判断

### 2. 和子牛の産地強化に資する前向きな取組に対する奨励金（加算）【拡充】

「和子牛産地強化計画」を作成した地域において、産地強化に資する前向きな取組メニュー（右下図）のうち1つ以上行う生産者に対して、1の奨励金が発動する際、1万円/頭を加えて交付します。

※本対策は、令和4年12月までの臨時・緊急の措置とします。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

<1の取組メニュー> 以下の8つのうち3つ以上に取り組む

- 経営分析  
(経営管理研修会への参加等)
- 子牛の疾病防止  
(下痢防止剤の投与等)
- 牛体管理の徹底  
(削蹄の実施等)
- 暑熱対策  
(牛舎内の遮光等)
- 飼料効率の改善  
(飼料分析を踏まえた給与設計等)
- 駆虫・防虫対策  
(防虫ネットの設置等)
- 寒冷対策  
(牛体の保温等)
- 添加物による栄養補助  
(ビタミンの添加等)

肉用子牛生産の継続・生産者の経営改善

<2の取組メニュー> 以下の中から1つ以上に取り組む

- 発情発見機・分娩監視装置の活用  
(機器の購入、リース)
- 早期出荷に向けた地域内一貫生産  
(地域内一貫生産グループへの参画)
- 一年一産に向けた高度な栄養管理  
(代謝プロファイルの実施)
- 疾病防止のための適切なワクチン接種  
(母牛、子牛のワクチン接種)
- 栄養状態を強化する人工哺乳  
(代用乳の活用)
- 遺伝的多様性に配慮した交配  
(近交係数を考慮した人工授精)

和子牛産地の強化

【お問い合わせ先】 畜産局食肉鶏卵課 (03-3502-5989)